

# ARAI NEWS

Arai

## レース専用 くもり止めシールド、 発売へ。

レーサーがヘルメットについて抱えている大きな悩みの一つは、シールドのくもりです。シールドのくもりというのは、ヘルメットの内側と外気との温度差などにより、空気中の水分がシールドの表面に水滴となって附着し光の直進を妨げるものです。くもり止めの方法としては、大別して二つの方法があります。一つは、外気がシールド内面に沿って流れるようにして内側の温度差をなくし、再び気化させて取除いてしまう方法。そしてもう一つは、附着した水滴をうすい水の膜にして透視させる方法です。レーサーは、よくシールドの内面に中性洗剤を塗ってくもり止め対策をしていますが、これなどは後者の理論を実践した簡単な方法です。しかし、水と一緒に洗剤が流れ出してしまうばそれまでで、安心して使えるものとはいえないようです。ARAIは何年も前から、数多くの方法をトライしてきました。強制的に外気を送り込む方法などは、一部市販モデルに導入しています。しかしこれもカウリングの中にヘルメット



ごと収めてしまうレーサーでは、必ずしも有効でない場合もあり、レース専用シールドとしては、フレディー・スペンサーを始めとする数多くのレーサーにテストを依頼してテストを重ねてきました。しかし、どれもかなりの実績はあるものの、一般ユーザーの方々にお使いいただくにはあまりにも問題が多いと



ころから、市販を控えてきたのが実情です。しかし、ようやく皆様にお使いいただけそうなものが完成し、レース専用として市販に踏み切ることになりました。これはシールドの内面を水になじみやすいよう界面を活性化して透視できるようにしたものです。くもり止め液などをぬるのはちがいに化学的に処理してあるため、大変長持ちします。ただし、シールドの外面はSSR加工でキズがつきにくいものですが、くもり止め処理した内面は

やわらかで、ここに水分を含んだ時などはキズがつきやすくなっているため、通常のシールドより扱いにはかなり注意していただく必要があります。そこでレース専用として発売させていただくことにしました。

今回発売するのはcLc RX-7、レーシングVENT、スーパーVENT、ラバイド、アストロ等、ホルダー機構モデルに共通して使用できるラバイドAFシールドと、トロフィー系モデル用のトロフィーAFシールドの2種類です。またこの他にも、シールド内面の空気を動かして水滴を取り除くタイプのレース用くもり止めシールドも改良が重ねられ、市販を計画する段階に入りました。その試作品の一つは、先日激しい雨の中でくり広げられた日本GP500ccレースで優勝した平忠彦選手も使用していたもので、お気づきの方もいらっしゃるでしょう。市販のままでレースにお使いいただけるよう「トップクラスのライダーたちによる実戦でのテストを重ねてから、製品化する」というARAIのヘルメット造りのポリシーに従い、研究開発が着々と進められています。

この平選手使用のくもり止めシールドも、テストが終了し結論が出しだい発売なるでしょう。御期待ください。



### お願い

10月号誌上にて驚かされた方々の方々のため、改めてお願い申し上げます。1982年の4月より12月の間に製造された当社製ジェット型に、アコ紐取り付け部に支障のある品が、万に一つかもしれませんが含まれていた可能性があります。そこで、まことに恐縮ながら当該期間のジェット型をお持ちの方は点検のため当方までお送り下さるようお願い致します。安全性確認のうえ速やかに返送させて頂きます。送料は当方にて負担させて頂きますので、宅配便などを送料負担のご利用いただくのが便利かと存じます。

製造年月はヘルメット内側、右後方の白いラベルに6桁の数字で月・日・年の順に表示されています。例えば070182と表示されるジェット型(含むM-X Racing)なら82年7月1日の製造なのでお願いの対象となります。

十二分に自信を持って出荷した製品について、この様なお願いをするのは心苦しいかざりですが、お客様の為を考えあえて実施させて頂きました。ご協力の程よろしくお願い申し上げます。尚、構造の異なるフルフェイス型等には問題ありません。

お送り頂く際は、住所、氏名、電話番号をお忘れなく。ご送付、お問い合わせは下記まで